

東京在住のY氏は、ここ数年、年末年始の休暇中は実家に帰省せず家族で過ごし、新年を迎えています。

かつては、お盆やお正月のまとまった休みには、家族皆で帰省していました。

Y氏の息子は毎回、祖母に会うことを楽しみにしていたのです。

しかし、ある年を境に、息子は部活や勉強が忙しいなどと言うようになり、家族皆で帰省するということはなくなりました。

実家の母へ今年も帰省できないと伝えると「○○君も忙しいんだよ。父親としてもっと話をしてあげて」と諭してくれたのです。

後日、Yさんは「たまにはおばあちゃんに顔を見せに行こうよ」と言ってみました。すると数日後、息子から「冬休みには、おばあちゃんの家に行きたいな」という言葉が返ってきたのです。

職場でも家族でも現状を変えるには、まずは自分から行動しなければならぬと感じたYさん。「これからは伝えるべきことは伝えよう」と決めたのでした。

今日の心がけ◆家族間で話をしましょう

日本再発見! -用水路・用水路の跡(日本編)-

あさかそすい
安積疏水
(福島県郡山市)

栃木県的那須疏水、滋賀県の琵琶湖疏水と並び、日本三大疏水と称される。郡山西部の安積野は水不足に悩まされる地だったが、1879(明治12)年、ここに猪苗代湖から湖水を引くため、明治政府による一大事業が始まった。それから約